

1

かつて破綻した旧3町が直面する逆境

旧赤池町	旧金田町	旧方城町
▶ 財政再建期間 平成3～12年度	▶ 財政再建期間 昭和56～62年度	▶ 財政再建期間 昭和57～平成3年度
▶ 赤字解消額 31億7,332万円	▶ 赤字解消額 10億9,057万円	▶ 赤字解消額 21億4,762万円

かつて産炭地として筑豊に名をさせた福智町合併前の旧3町。「筑豊に5円以下の貨幣はない」と言われる好景気で、町は活気にあふれました。しかし時代は石炭から石油へ。昭和40年代後半からのエネルギー転換で、基幹産業は消滅。多くの失業者と鉱害地が町に残りました。

炭鉱閉山後の活路を見出すため、旧3町は新たな産業を模索。財政再建を試みますが、成果をあげられず借金はふくらみ、ついに町の倒産を意味する財政再建団体へと転落しました。

しかしその逆境は行政と住民に意識改革を



↑合併後の町職員の手による道路補修。旧町時代から続く経費削減策は、再建に向かう町の象徴的な姿として注目された。

もたらします。住民による多くのボランティア団体の自発的な組織、行政の徹底的な経費削減と事業の見直し。町一丸で取り組む強い意志が原動力となり、旧3町はいずれも計画より早く再建団体を脱却しています。

全国でも類を見ない、財政再建から立ち直った3町の合併で誕生した福智町。しかし急激な人口減少や合併特例の終了などこの町はふたたび、厳しい逆境に立たされています。



↑「気負いや重圧は全く無い」と充実した気力と体力で試合に臨んだ久富選手。開始直前、命運を託すように額を拳に当てました。



練習全般を一から見直し、毎日早朝に走り込み。日中は家の建設で肉体労働。夜はジムで週6日の激しい練習と、自由を犠牲にボクシングを続けることに全てを注いできました。復帰初戦は不運の負傷引き分けでしたが、次戦KO勝利で再起。井上通文会長も「まだまだこれから脂肪がのってくる」と成長に目を細めます。

そして迎えた11月24日のプロ5戦目。会場は友人や親戚が見守る地元・方城体育館。「今まで試合前は不安に押しつぶされそうでしたが、今回は初めてのいいイメージで試合に臨んでいる。それだけの練習をしてきました」。

万全の準備とためまぬ努力に裏打ちされた確固たる自信を胸に、メインイベントとして凱旋試合のリングに立った久富選手。逆境を越える挑戦へ……。運命のゴングを静かに待ちました。

**熱** 気あふれるジムの一角で、一心不乱にサンドバッグを打ち続ける23歳のプロボクサー、久富修平選手(弁城出身)。弱肉強食の厳しいプロの世界で戦う久富選手には、競技人生の大きな転機がありました。

幼少時から格闘技に憧れを抱いていた久富選手は、高校卒業後に筑豊ボクシングジムの門をたたきます。身長182cmの恵まれた体格と強力な右ストレートを生みだすパワー。迎えたデビュー戦を1R35秒KO勝利で飾り周囲の期待に応えます。

しかし臨んだ2戦目に、後の西日本新人王となる選手にKO負け。「自信が全て崩れました。でもだからこそ本気になった。あの敗北が全力で挑む覚悟を、折れない心を生んだと思います」。

特集

逆転

立ち上がる。何度でも

序 Prologue

逆転の鍵

逆境にくじけない覚悟と挑戦

誰しも壁にぶつかり、乗り越えなければならぬ試練が訪れます。今月のテーマは「逆転」。強い意志で逆境に立ち向かう事例から、この町全体に今迫る問題、そして打開するヒントを探ります。